

家畜伝染病予防法に基づく牛の検査について

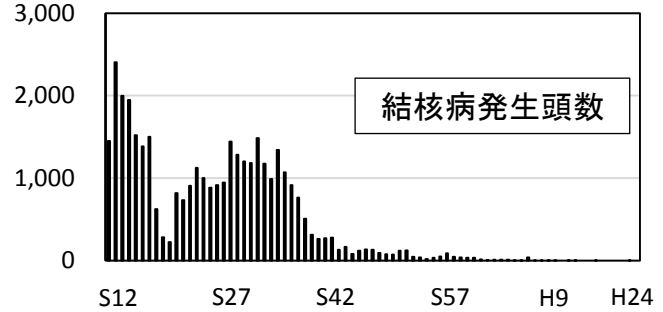
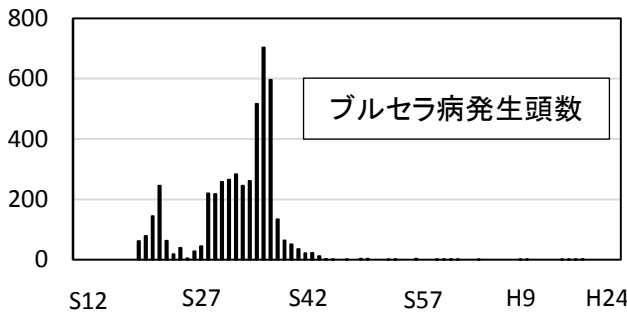
～平成30年4月からブルセラ病・結核病・ヨーネ病の検査が見直されました！～

- ブルセラ病・結核病の検査は抽出検査に移行
- ヨーネ病の検査手数料を新設(600円/頭)
- 牛の健康手帳は希望牛のみに交付

| | 手数料(1頭当たり) | |
|-------|---------------------|--------------|
| | H30年度から | これまで(～H29年度) |
| ブルセラ病 | 0円(抽出検査) | 250円(全頭検査) |
| 結核病 | 0円(抽出検査) | 250円(全頭検査) |
| ヨーネ病 | 600円(新規設定) | 0円(設定なし) |
| 健康手帳 | (希望牛のみに交付) | 220円(全頭に交付) |
| 計 | 600円 (健康手帳なしの場合) | 720円 |

ブルセラ病・結核病

○これまでの検査(平成29年度まで):乳用牛を対象に3年毎に全頭検査



ほぼ清浄化を達成

○平成30～32年度:清浄性確認サーベイランス検査

乳用牛・肉用牛を対象に抽出検査(全国で1,344戸(京都府2戸)/年)を実施

陰性が確認できれば清浄化宣言

○平成33年度～:清浄性維持サーベイランス検査

輸入牛や流産牛等のリスクの高い牛を対象に検査

ヨーネ病

○全国で発生が確認されており、今後も3年毎の全頭検査を継続

